



さんぽっぽ ～景観だより～ ～第39号(28.12)～



『私の好きな薩摩川内市の風景』絵画コンクールについて

「私の好きな薩摩川内市の風景」絵画コンクールに応募してくれたみなさん、ありがとうございました。応募総数292点の中から入賞12点、入選12点の作品が決まりました。



◇ 審査の様子 ◇

審査の先生方は、1つ1つの作品をじっくり見ながら、絵の描き方や色の使い方などを話し合い、審査されました。

みんなで素晴らしい風景を大切にしていきたいですね。来年もみなさんの応募を待っています。



～審査された先生方の感想～

- ものの形をよく見ていて、具体的に描いているところがすばらしい。
- 題材を広くとらえていろいろな場所が描かれているので見て楽しい。
- 丁寧に描かれている。



お正月、学校やコミュニティーセンターなどでは門松などの正月かざりをしている風景がみられますね。

正月かざりには門松、しめかざり、鏡もちなどがありますが、年神様をお迎えする準備として飾るもので、そのひとつひとつに意味があります。

門松

門に飾ります。年神様を家に迎え入れるための目印になります。

松…年中みずみずしい常緑で、神の宿る木とされています。

竹…2～3日で背たけほども伸びるので、生命力をしょうちようしています。

梅…新春に咲き1年の始まりを意味し、おめでたい紅白を飾ります。梅の代わりに、魔よ

けとして南天を使用することもあります。



しめかざり

おげんかんにかがります。家の中が神様をお迎えするために清められていることを意味します。うらじろやだいだいの縁起物をあしらっています。

鏡もち

床の間、または高いところにかがります。

神様へのお供えであり、より所です。丸いお餅を2つ重ねるのは円満に年を重ねるという意味があります。



《飾る時期》29日は「二重苦」「苦松(=苦が待つ)」に通じ、31日は「一夜かざり」で縁起が悪いことや、神様をお迎えするのに一夜限りでは失礼なことから、26日～28日までに飾られています。

